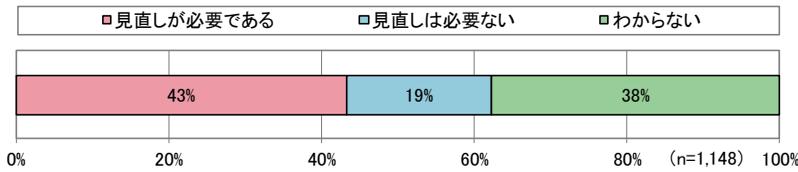


## ふれあいタクシー事業の見直しについて

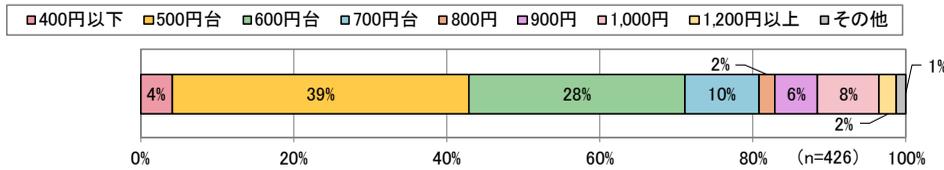
- 見直しが必要であると思う人が43%を占めています。

### ふれあいタクシー事業の見直しの必要性



- 適切だと思う料金は、「500円台」が39%で最も多く、次いで「600円台」が28%となっています。
- 料金を引き下げ場合の利用目的としては、「通院」が95%で最も多く、以下、「買い物」56%、「サロンや老人会への参加」35%、その他9%となっています。

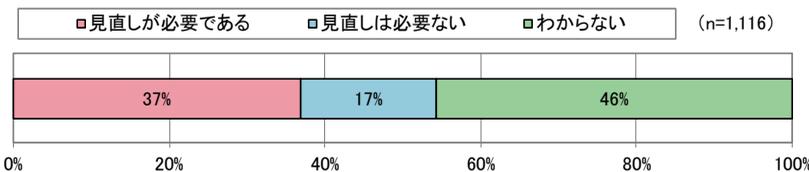
### 適切だと思う料金



## 町外医療機関通院者支援事業の見直しについて

- 見直しが必要であると思う人が37%を占めています。

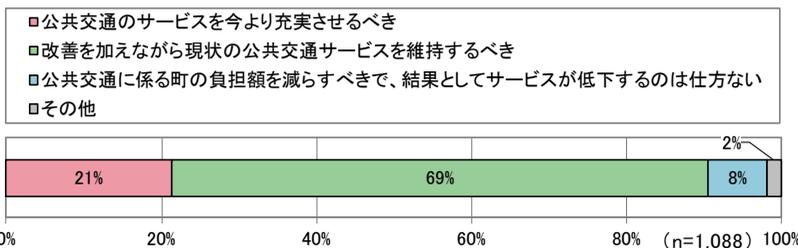
### 町外医療機関通院者支援事業の見直しの必要性



## 今後の神石高原町の公共交通について

- 今後の神石高原町の公共交通のあり方としては、「改善を加えながら現状の公共交通サービスを維持すべき」が69%で最も多く、次いで「今より充実させるべき」が21%となっています。

### 今後の神石高原町の公共交通のあり方



回答をいただいた皆さま、ご協力ありがとうございました。調査結果などを踏まえ、令和6年4月から「ふれあいタクシー事業」の見直しを行うことになりました。詳細は町のホームページ

(<https://www.jinsekigun.jp/town/formation/soumu/anshinnanzenn/tiikikoutu/>) をご覧ください。なお、今回のアンケート調査結果は、令和6年度に策定する「神石高原町地域公共交通計画」の基礎資料としても活用してまいります。計画案がまとまりましたら、パブリックコメントなどを通じて、町民の皆さまにあらためてお知らせいたします。よろしくお願いいたします。

二次元バーコードはこちら



### このアンケート調査及び地域公共交通計画に関するお問合せ先

神石高原町地域公共交通協議会事務局(神石高原町役場総務課内) 担当:岩田  
〒720-1522 広島県神石郡神石高原町小島1701番地 電話:0847-89-3330

# 「神石高原町の公共交通に関するアンケート調査」の実施結果について

本町では、公共交通機関として路線バス(中国バス・町営バス)とタクシーが運行されています。このうち、タクシーについては平成29年度に「ふれあいタクシー事業」を開始し、大変多くの皆さまにご利用をいただいております。このたび、ふれあいタクシー事業をはじめとする町内の公共交通に対する皆さまの意見を聞き、ふれあいタクシー事業の見直しや持続的な地域公共交通体系のあり方を検討するため、町民の皆さまを対象としたアンケート調査を実施しました。アンケート調査では、通勤通学・買い物・通院の状況、路線バスとタクシーの利用状況、ふれあいタクシー事業と町外医療機関通院者支援事業の見直しの必要性、今後の町内の公共交通のあり方などについてお伺いし、このたび、調査結果をまとめましたのでお知らせします。

## 調査概要

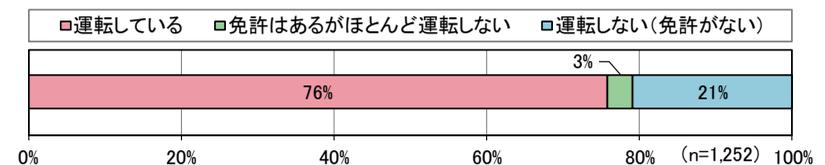
実施期間	令和5年11月1日～12月15日
調査対象	町内の全世帯 ※世帯員のうち、世帯主または同居されている方のうち、町内のバス・タクシーを普段から利用している方(利用している方が世帯にいない場合は、公共交通を必要としている方)が回答
配布・回収状況	配布: 3,269票、回収: 1,290票(回収率39.5%)

## 調査結果

### 自動車の運転について

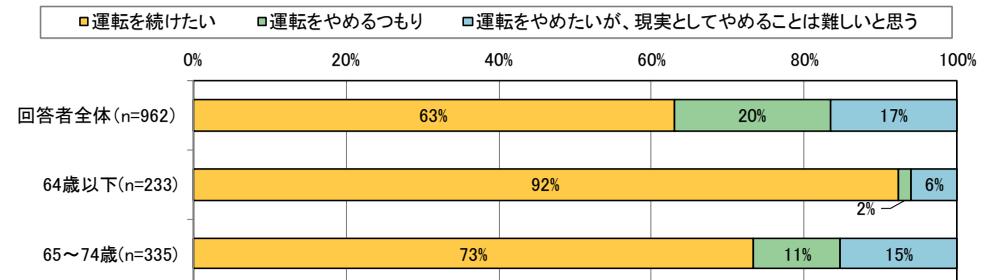
- 日常的に運転している人が76%を占めています。

#### 自動車の運転状況



- 運転免許を持つ65～74歳の73%が10年後も運転を続けたい意向です。今後、高齢者人口が減少に転じる中、運転免許を持ち続ける高齢者の割合が高まり、返納者が減少する可能性があります。
- 「運転をやめたいが、現実としてやめることは難しいと思う」と回答した人に、運転をやめることが難しい理由をたずねたところ、「交通手段がなくなるから」が83%で最も多く、次いで「支援制度が不十分」が29%となっています。

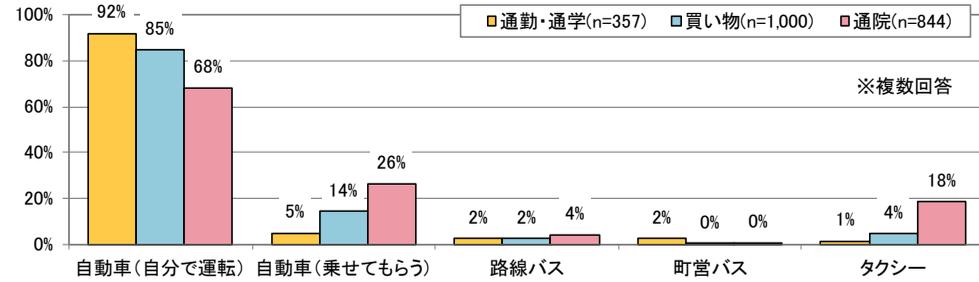
#### 10年後の運転継続意向



## 外出時の交通手段について

- 通勤・通学は92%、買い物は85%、通院は68%が「自家用車（自分で運転）」となっています。
- 公共交通を利用している人の割合は、割合が比較的高い通院の場合でも、タクシーが18%、路線バスが4%などとなっています。

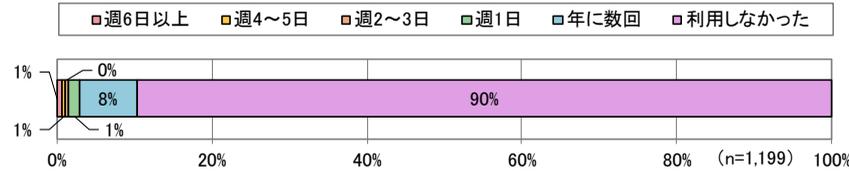
### 外出時の交通手段



## 町内の路線バス・タクシーの利用状況について

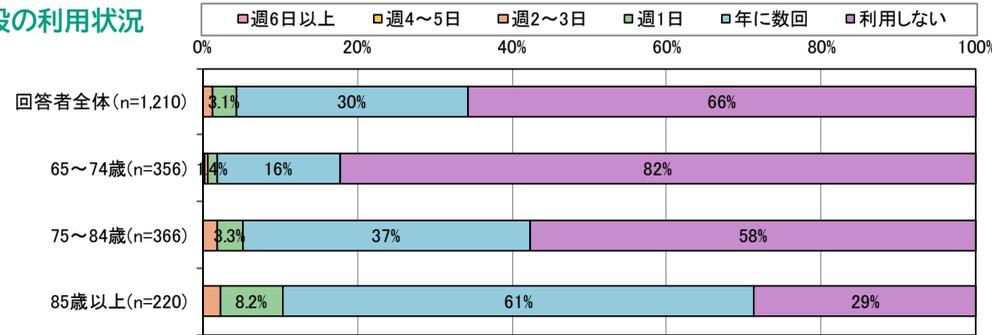
- 過去1年間に町内の路線バスを利用しなかった人が90%を占めています。

### 過去1年間における町内の路線バスの利用状況



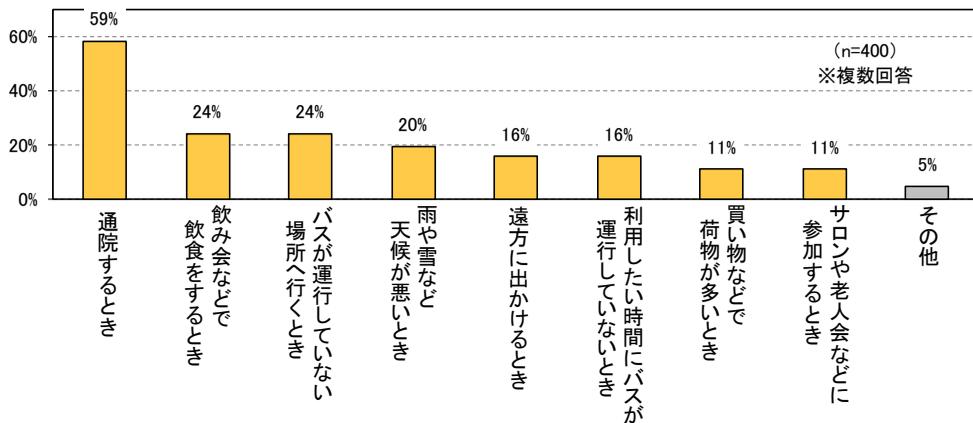
- 町内のタクシーを普段利用しない人が66%を占めています。
- タクシーの利用頻度は、年齢が高くなるにつれて高まるものの、最も高い85歳以上でも「年に数回」が61%を占めています。

### 町内のタクシーの普段の利用状況



- 町内のタクシーを普段利用しない人が66%を占めています。
- タクシーの利用頻度は、年齢が高くなるにつれて高まるものの、最も高い85歳以上でも「年に数回」が61%を占めています。

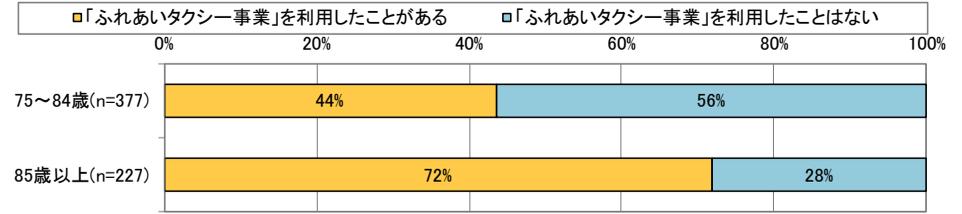
### 町内のタクシーを利用する場面



## ふれあいタクシー事業の利用頻度・満足度について

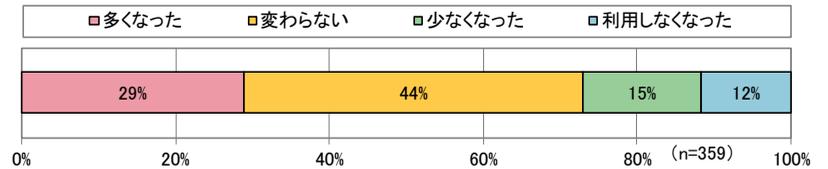
- 利用対象者の要件に該当する75~84歳の56%、85歳以上の28%が、それぞれ「利用したことが無い」と回答しています。

### ふれあいタクシー事業の利用経験

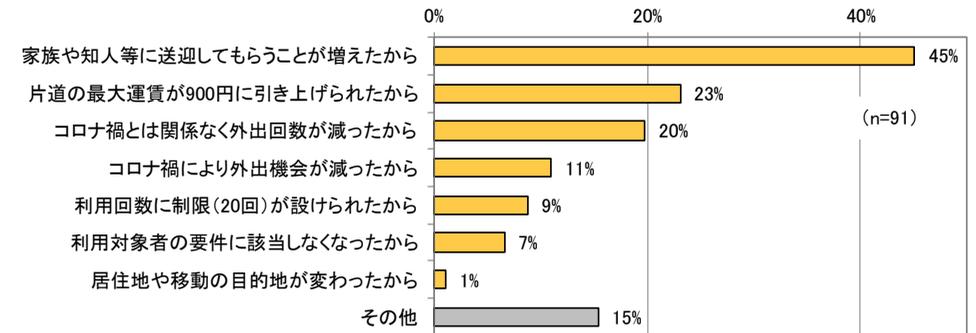


- コロナ禍以降、「利用が減った」又は「利用しなくなった」人が合わせて27%を占めており、その理由としては「送迎してもらうことが増えたから」が45%で最も多くなっています。

### コロナ禍前後におけるふれあいタクシーの利用頻度の変化



### 利用頻度が少なくなった、又は利用しなくなった理由



- 利用対象者の要件に該当し、かつ、これまでに利用経験がない人が不満に感じている項目は、「利用できる範囲（町内限定であること）」、「片道の最大運賃」などとなっています。

### 利用対象者の要件に該当し、かつ利用したことがない人の満足度

